平成 25 年 3 月 12 日

各位

会 社 名　　大阪瓦斯株式会社
代表者名　　代表取締役社長　尾崎　裕
（コード番号 9532 東･大･名証第１部）
問合せ先　　広報部長　小西池 透
（ＴＥＬ　０６－６２０５－４５１５）

2013 年度 大阪ガスグループ経営計画

平成 25 年 3 月 12 日
大阪ガス株式会社

１．2013 年度の重点課題

2013 年度は、①日本経済・世界経済の回復傾向が見られる中で、成長市場を見つけ積極的に事業拡大に取り組んでいく年、②天然ガスへの高い期待にお応えし、一方でガス事業制度改革の影響に注視しつつ、エネルギー事業のさらなる進化に取り組む年と位置付け、以下の４つを重点課題と位置づけてまいります。

１．お客さま・社会のニーズにお応えしたエネルギー事業の進化
２．海外エネルギー事業の更なる飛躍
３．多様なグループ企業の成長による収益の拡大
４．持続的な成長を支える経営基盤の強化

２．収支計画

2013 年度は、連結の売上高は 1 兆 5,080 億円、営業利益は 1,000 億円、経常利益は 1,000 億円、当期純利益は 645 億円を計画しています。

	グループ連結			大阪ガス個別		
	2012 年度 見込み（億円）	2013 年度 計画（億円）	増減率 （%）	2012 年度 見込み（億円）	2013 年度 計画（億円）	増減率 （%）
売上高	13,730	15,080	＋9.8	10,980	11,935	＋8.7
営業利益	940	1,000	＋6.4	595	570	▲4.2
経常利益	950	1,000	＋5.3	660	620	▲6.1
当期純利益	610	645	＋5.7	455	425	▲6.6
ＳＶＡ	277	274	---	188	140	---
ＲＯＡ	4.0%	4.1%	---	3.7%	3.4%	---
ＲＯＥ	8.7%	8.6%	---	8.2%	7.2%	---

2012 年度見込みは平成 24 年 10 月 29 日発表の業績予想

※ 2013 年度の前提：原油価格（全日本ＣＩＦ価格） 115 ドル　為替レート 95 円
〔2012 年度の予想：原油価格（全日本ＣＩＦ価格） 115 ドル　為替レート 80 円〕

３．ガス・電力販売量計画

2013 年度は、大阪ガス個別のガス販売量で 8,559 百万ｍ^3（2012 年度(見込み)比 0.5%増)、電力販売量で 8,136 百万 kWh（2012 年度(見込み)比 3.2%増）を計画しています。

【ガス販売量（大阪ガス個別)】　　45MJ/㎥換算

	家　庭　用	2,222 百万㎥　（▲2.4%）
	商・公・医 用	1,481 百万㎥　（▲3.6%）
	工　業　用	4,390 百万㎥　（＋3.6%）
	他ガス事業者向け	466 百万㎥　（▲0.8%）
	ガ ス 販 売 量 合 計	8,559 百万㎥　（＋0.5%）
	お客さま数（年度末）	7,112 千件　（＋0.5%）

（連結）　ガス販売量	8,589 百万㎥　（＋0.4%）

【電力販売量】

合計	8,136 百万 kWh（＋3.2%）

（　）内は 2012 年度見込みからの増減率

４．投資計画

2013 年度は、連結では 1,820 億円の投資を計画しています。
なお、大阪ガス個別の設備投資は 636 億円の計画です。

		投資額
既存事業 品質向上投資		440 億円
	国内エネルギーサービス事業	260 億円
	海外エネルギーバリューチェーン事業	830 億円
	環境・非エネルギー事業	290 億円
新規事業 拡大投資		1,380 億円
投　資　額　合　計		1,820 億円

（参考：上記のうち）大阪ガス個別での設備投資	636 億円

５．2013～2017 年度 供給計画

（１）ガス需要見通し

2013 年度以降は、天然ガスコージェネレーションやガス空調機器の導入、燃料転換など、工業用を中心とした天然ガスシフトの進展による需要増加を見込み、2017 年度のガス販売量は 8,977 百万㎥となる計画です。この間の 5 年間の年平均伸び率は 1.1％です。

（単位：百万ｍ^3、ｍ^3／月、％）

	2012 年度（平成 24 年度）（実績見込）	2013 年度（25 年度）	2014 年度（26 年度）	2015 年度（27 年度）	2016 年度（28 年度）	2017 年度（29 年度）	12～17 年度年平均伸び率
家庭用	0.2 2,275	−2.4 2,222	−0.1 2,220	0.0 2,220	0.0 2,221	0.3 2,227	−0.4
業務用計	−2.6 5,775	1.7 5,871	2.6 6,025	2.1 6,149	1.4 6,232	0.7 6,275	1.7
商業用	−3.3 896	−3.6 864	−0.1 863	0.0 863	−0.3 861	−0.2 859	−0.8
工業用	−2.7 4,239	3.6 4,390	3.4 4,539	2.6 4,657	1.7 4,735	0.7 4,769	2.4
公用･医療用	−1.2 640	−3.6 617	0.9 623	0.9 628	1.3 636	1.8 648	0.2
小計	−1.8 8,051	0.5 8,093	1.9 8,245	1.5 8,368	1.0 8,453	0.6 8,503	1.1
他ガス事業者への供給	−2.3 469	−0.8 466	0.3 467	0.6 470	0.2 471	0.8 474	0.2
合計	−1.9 8,520	0.5 8,559	1.8 8,712	1.4 8,838	1.0 8,924	0.6 8,977	1.1
家庭用１戸当たり販売量	−0.1 32.5	−2.7 31.7	−0.5 31.5	−0.3 31.4	−0.2 31.3	0.0 31.3	−0.8

（注）各欄の左肩は対前年伸び率（％）。販売量は 45MJ/ｍ^{3}で表示しており、届出値（46MJ/ｍ^3）と異なります。各区分で四捨五入しています。

なお、当社の供給区域内における新設工事件数は、以下のように年間約 8 万件から 10 万件の水準で推移するものと見込んでいます。

年度末のお客さま数（取付メーター数）は、2017 年度末には約 725 万件となる見込みです。

（単位：千件）

	2012 年度（平成 24 年度）（実績見込）	2013 年度（25 年度）	2014 年度（26 年度）	2015 年度（27 年度）	2016 年度（28 年度）	2017 年度（29 年度）	12～17 年度年平均伸び率
新設工事件数	11.8 90	7.8 98	−4.9 93	−9.3 84	−3.3 81	−1.3 80	−2.4
お客さま数（年度末）	0.5 7,078	0.5 7,112	0.5 7,149	0.5 7,184	0.5 7,217	0.5 7,250	0.5

（注）左肩は対前年伸び率（％）

（２）原料購入計画

需要の増加に対して安定的な供給を確保するため、ＬＮＧおよびＬＰＧの確実な調達に努めます。2017 年度には、ＬＮＧの購入量は 749 万ｔ、ＬＰＧの購入量は 19 万ｔとなる計画です。

（単位：千ｔ）

	2012 年度 (平成 24 年度) (実績見込)	2013 年度 (25 年度)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)
ＬＮＧ購入量	7,231	7,108	7,154	7,250	7,345	7,489
ＬＰＧ購入量	148	158	163	184	204	186

（３）設備投資計画

将来の需要増に対応した供給能力の向上と安定供給体制の確保を目的とした三重・滋賀ラインおよび供給区域外に存在する工業用需要等へのガス供給を目的とした姫路・岡山ラインの建設等をはじめとする供給設備や、地震・津波等の災害を想定した製造・供給設備での対策工事などへの投資を中心に、2013 年度から 2017 年度の累計設備投資額は、2,692 億円となる計画です。

＊金額は各区分で切捨て表示　（単位：億円）

	2012 年度 (平成24年度) (実績見込)	2013 年度 (25 年度)	2014 年度 (26 年度)	2015 年度 (27 年度)	2016 年度 (28 年度)	2017 年度 (29 年度)	13～17 年度 合計
製造設備	68	60	104	96	57	65	385
供給設備	484	519	404	397	398	402	2,123
業務設備	46	53	49	24	24	24	175
附帯事業設備	0	2	1	1	1	1	8
合計	599	636	559	520	482	494	2,692

【主要製造設備計画】

設備名	容量	設置場所	設置年度
ＬＮＧ貯蔵設備	23 万 kl	泉北製造所第一工場	2015 年度（予定）

【主要導管計画】

路線名	総延長	区間	開通年度
三重・滋賀ライン	約 60km＊	滋賀県多賀町～三重県四日市市	2013 年度（予定）
姫路・岡山ライン	約 85km	兵庫県姫路市～岡山県岡山市	2014 年度（予定）

＊当社施工分は滋賀県多賀町～三重県いなべ市間の約 23km

以　上